国立大学法人一橋大学長に求められる資質と能力

平成 27 年 10 月 23 日
学 長 選 考 会 議
改正　令和３年１月 22 日
学 長 選 考 会 議
改正　令和５年４月 24 日
学長選考・監察会議

一橋大学は、市民社会の学である社会科学を核とする研究総合大学として、リベラルな学風のもとに政治経済社会の発展とその指導的担い手の育成に貢献してきた。人文・自然科学を含む研究教育の水準はきわめて高く、創立以来、国内のみならず国際的に活躍する、有為の人材を多く社会に送り出している。

この歴史と実績を踏まえ、一橋大学は、日本及び世界の自由で平和な政治経済社会の構築に資する知的・文化的資産を創造し、その指導的担い手を育成することを使命とする。これを達成するため、先端的・学際的な研究教育を積極的に推進し、日本及び世界における研究教育の拠点として、人間社会に共通する重要課題を解決することを目指す。

そのため、学長には、次の資質、能力が求められる。

Ⅰ．学長に求められる資質

○　学内外の信望を得る高潔な人格
○　優れた学識と大学における研究教育活動への深い理解
○　一橋大学の社会的責任を自覚し、一橋大学研究教育憲章にもとづく大学運営を行う高い倫理感
○　一橋大学を世界に貢献する大学であらしめようとする強い使命感

Ⅱ．学長に求められる能力

○　一橋大学の歴史と特色をふまえつつ将来像を明確に示す構想力
○　達成すべき目標に向けて改革を果断に進める実行力と組織統率力
○　一橋大学の財政基盤を確立し、質の高い研究教育を行う良好な環境を整備・改善し続けるための交渉力と調整力
○　一橋大学の世界的地位を更に高めるための情報発信力